

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 02353 資金等調達管理事務

所属長名 大岡 久芳
担当者 小林 律夫
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	034	資金等調達管理事務		
事業期間	昭和42年度～			
実施方法	直営			
会計区分	水道事業	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	地方財政法			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・資金管理運用事務 ・企業債管理事務			

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	既企業債について償還予定に従って償還するとともに、繰上償還についても検討します。 新たな企業債による資金調達について検討します。 資金を適切かつ確実に管理するとともに、余剰資金の効率的な運用を目指します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	181,597	158,199
事業費	0	180,967	157,569
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	180,967	157,569
一般財源	0	0	0
人件費計	0	630	630
正規（人）	0.00	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		企業債の償還（元金15 2,948千円、利子28,01 9千円） 余剰資金を定期預金と して運用	企業債の償還（元金13 6,111千円、利子15,84 8千円） 余剰資金を定期預金と 有価証券により運用

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 02353 資金等調達管理事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
		理由 水道事業は水道法に基づく事業で、他団体では行っていません。	
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
		理由 水道事業における事業費の確保は必須です。	
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
		理由 効率性	
4	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
		理由 公平性	
5	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
		理由 運用額や運用先の決定にあたっては適正に行われています。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	預入先及び利率の決定については、入札にて最も条件のよいものを選定します。また、今後も定期預金は低金利で推移することが予測されるため、リスクの少ない有価証券等による運用を行い、運用益の確保を目指します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 02354 広報事業

所属長名 大岡 久芳
担当者 小林 律夫
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003 良好な水環境の実現			
事務事業	033 広報事業			
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	水道事業	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・広報事業 ・節水PR事業			

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	水道事業の運営に関する各種データや各種統計データをHP等により公表します。 水道週間には水道事業に関する特集を市広報に掲載します。 節水時にはHPの活用や横断幕の設置などにより、市民に節水への協力を呼びかけます。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	630	630
事業費	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	0	630	630
正規（人）	0.00	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		<ul style="list-style-type: none"> 水道事業の運営データをHPに掲載 水道年報の作成公表 水道週間に水道事業に関する特集を市広報に掲載 渇水時には、HPや横断幕の設置などにより節水への協力を呼びかけます 	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業の運営データをHPに掲載 水道年報の作成公表 水道週間に水道事業に関する特集を市広報に掲載 渇水時には、HPや横断幕の設置などにより節水への協力を呼びかけます

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 02354 広報事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
		理由 水道事業は水道法に基づく事業で、他団体では行っていません。	
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
		理由 水道は最も重要なライフラインであり、情報の提供は重要です。	
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
		理由 	
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
		理由 提供している情報はグラフや図を活用してわかりやすくしています。	
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
		理由 提供されている情報は他事業体と比べて適当なものです。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	水道事業の事業活動や経営状況に関して「水道年報」を作成するとともに、主要な経営業況等をグラフ化してHPにて公表します。 また、水道週間には市広報に水道特集を掲載し、水道事業に関する啓発を行います。 渇水時には、HPや横断幕などにより、節水への協力を呼びかけます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5 頁
平成30年 8月20日
11時55分32秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 02355 消費税申告事務

所属長名 大岡 久芳
担当者 小林 律夫
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	032	消費税申告事務			
事業期間	昭和63年度～				
実施方法	直営				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	当該年度における消費税額の算定及び確定させます。 確定した消費税を適正に確定申告し、納付します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	59,362	50,315
事業費	0	59,047	50,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	59,047	50,000
一般財源	0	0	0
人件費計	0	315	315
正規（人）	0.00	0.05	0.05
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		消費税支払額の算出及び確定 確定申告の実施	消費税支払額の算出及び確定 確定申告の実施

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 02355 消費税申告事務

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間と同様に事業活動に伴う法に定められた消費税事務です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	法に定められた義務的な事務事業です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	会計システムが導入され、事務の効率化が図られています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法に定められた事務事業であり適正に行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	消費税法に定められた事務事業であり、会計システムも導入され事務の効率化が図られています。仮払消費税額を遅延なく納付するとともに、年度終了後速やかに消費税額を算定・確定し、正確な確定申告に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
平成30年 8月20日
11時55分32秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 02356 貯蔵品管理事務

所属長名 大岡 久芳
担当者 小林 律夫
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	031	貯蔵品管理事務		
事業期間	昭和42年度～			
実施方法	直営			
会計区分	水道事業	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	水道事業が保管・管理する貯蔵品について出庫及び入庫を適正に管理します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	29,436	50,630
事業費	0	28,806	50,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	28,806	50,000
一般財源	0	0	0
人件費計	0	630	630
正規（人）	0.00	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		購入した貯蔵品をシステムに入力 出庫した貯蔵品をシステムに入力 定期的にたな卸しを実施し、貯蔵品の在庫状況を確認	購入した貯蔵品をシステムに入力 出庫した貯蔵品をシステムに入力 定期的にたな卸しを実施し、貯蔵品の在庫状況を確認

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 02356 貯蔵品管理事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	貯蔵品については民間等でも同様に管理されています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	貯蔵品を適正に管理することで無駄な費用を削減できます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的にたな卸作業を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の水道事業体でも同様に貯蔵品の管理が適正に行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	水道施設における漏水事故等に備え、必要な資材の保管管理に努めます。なお、保管資材の選定と資材毎に必要な数を見直し、適正な保管管理を行います。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 02357 水道事業会計出資事務

所属長名 大岡 久芳
担当者 小林 律夫
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	030	水道事業会計出資事務			
事業期間	昭和42年度～				
実施方法	直営				
会計区分	水道事業	事業区分	経常的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	一般会計からの委託事業等に要した経費を算出します。 算出された出資金を一般会計に請求します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	137,206	167,711
事業費	0	136,891	167,396
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	136,891	167,396
一般財源	0	0	0
人件費計	0	315	315
正規（人）	0.00	0.05	0.05
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		一般会計からの出資金 の算定及び請求	一般会計からの出資金 の算定及び請求

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 02357 水道事業会計出資事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	水道事業は水道法に基づいており、他の団体ではできません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	水道は人が生活していく上で最も重要なライフラインです。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	関係部署とは調整を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の水道事業体でも一般会計に出資金を請求しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	一般会計からの委託事業等の選定にあたっては、関係各課との調整を図り、必要な予算の確保が必要となります。また、事業に要した経費については正確に算出し、その額を速やかに請求します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
平成30年 8月20日
11時55分40秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501020 水道業務課料金係
事務事業 02359 水道開閉栓事務

所属長名 大岡 久芳
担当者 伊吹 明信
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	029	水道開閉栓事務			
事業期間	平成1年度～				
実施方法	直営				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	給水条例、給水条例施行規程				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	電話・FAX・窓口にて水道使用の申込みや使用中の届出を受け付け、指定期日までに確実に開閉栓作業を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	36,262	43,858
事業費	0	2,242	3,538
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	2,242	3,538
一般財源	0	0	0
人件費計	0	34,020	40,320
正規（人）	0.00	5.40	6.40
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		開栓 6.037件 閉栓 5.983件 名義変更 2.923件	開栓 6.200件 閉栓 6.300件 名義変更 2.800件

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501020 水道業務課料金係
事務事業 02359 水道開閉栓事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間委託費用との比較を基本に、可否を検討しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	法に定められた義務的な管理事務となります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新システムが導入され、事務の効率化が図られています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法に定められた義務的業務であり、適正に行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	開閉栓の依頼に対し、忠実に実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
平成30年 8月20日
11時55分40秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501020 水道業務課料金係
事務事業 02360 水道業務課業務事務

所属長名 大岡 久芳
担当者 伊吹 明信
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	028	水道業務課業務事務			
事業期間	平成1年度～				
実施方法	直営				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	給水条例、給水条例施行規程				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	水道料金システムにより、一括処理を効率的に行います。 そのシステムが安全に作動するため保守契約を締結します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	16,399	18,592
事業費	0	13,249	15,442
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	13,249	15,442
一般財源	0	0	0
人件費計	0	3,150	3,150
正規（人）	0.00	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		定時調定 随時調停 納入通知書作成等 各12回 保守委託契約 年1回	定時調定 随時調停 納入通知書作成等 各12回 保守委託契約 年1回

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501020 水道業務課料金係
事務事業 02360 水道業務課業務事務

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間委託費用との比較を基本に、可否を検討しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	法に定められた義務的な管理事務となります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新システムが導入され、事務の効率化が図られています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法に定められた義務的業務であり、適正に行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 新料金システムを活用し、調定誤りを事前修正し、正確な処理を実施します。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1/2）

5頁
平成30年 8月20日
11時55分40秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501020 水道業務課料金係
事務事業 02361 水道料金収納管理事務

所属長名 大岡 久芳
担当者 伊吹 明信
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003 良好な水環境の実現			
事務事業	027 水道料金収納管理事務			
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	給水条例、給水条例施行規程			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	安心・安全な水道水を安定して届けるために水道料金を収納します。 納入者の利便性、収納事務の効率のため、口座振替を推進します。 料金の未納者には給水停止を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	18,146	22,246
事業費	0	7,751	8,071
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	7,751	8,071
一般財源	0	0	0
人件費計	0	10,395	14,175
正規（人）	0.00	1.65	2.25
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		口座振替率 約81% 滞納者訪問件数 約468件 給水停止件数 約225件	口座振替率 約80% 滞納者訪問件数 約450件 給水停止件数 約200件

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501020 水道業務課料金係
事務事業 02361 水道料金収納管理事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間委託費用との比較を基本に、可否を検討しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	法に定められた義務的な管理事務となります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新システムが導入され、事務の効率化が図られています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法に定められた義務的な事業であり、適正に行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	滞納者に係る給水停止においては、訪問などの事前交渉を丁寧を実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
平成30年 8月20日
11時55分41秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501020 水道業務課料金係
事務事業 02362 水道料金賦課事務

所属長名 大岡 久芳
担当者 伊吹 明信
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	026	水道料金賦課事務		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	給水条例、給水条例施行規程			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	2ヶ月に1度、水道メーターを検針して使用水量をお知らせするとともに、その指針に基づき水道料金を正確に算定します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	29,667	30,380
事業費	0	25,257	25,970
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	25,257	25,970
一般財源	0	0	0
人件費計	0	4,410	4,410
正規（人）	0.00	0.70	0.70
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		検針件数 379,150件	検針件数 380,000件

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501020 水道業務課料金係
事務事業 02362 水道料金賦課事務

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

カテゴリ		評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		民間委託費用との比較を基本に、可否を検討しています。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		法に定められた義務的な管理事務となります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		新システムが導入され、事務の効率化が図られています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		法に定められた義務的業務であり、適正に行われています。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	慎重に水道メーターの計量を行い、正確な料金賦課に努めます。計量の際に漏水を発見した場合、適切な対応をします。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
平成30年 8月20日
11時55分41秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501020 水道業務課料金係
事務事業 02363 量水器取替事業

所属長名 大岡 久芳
担当者 伊吹 明信
電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002 環境			
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003 良好な水環境の実現			
事務事業	025 量水器取替事業			
事業期間	平成1年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	水道事業	事業区分	義務的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	給水条例、給水条例施行規程			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	計量法に基づく有効期間内（8年）に、水道メーターを取替えます。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	0	18,226	20,380
事業費	0	15,391	17,545
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	15,391	17,545
一般財源	0	0	0
人件費計	0	2,835	2,835
正規（人）	0.00	0.45	0.45
その他経費	0	0	0

【事務事業活動実績】	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			取替個数 8,200個 業者委託分 190個 職員取替分

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価
所属 0001501020 水道業務課料金係
事務事業 02363 量水器取替事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間委託費用との比較を基本に、可否を検討しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	法に定められた義務的な管理事務となります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新システムが導入され、事務の効率化が図られています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法に定められた義務的業務であり、適正に行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	水道メーターが故障する前に取り換えるという法の命題を理解し、忠実に交換を実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。